

昭和十四年一月六日

（本務参考用ニ付取扱注意アリタシ）

外務省情報部

各國新聞論調概要

(225)

○米國ノ對日通牒

○汪兆銘脫出問題（續）

○獨海軍ノ増重問題

○汎米會議ノ効果

○東亞新秩序建設ノ前途

昭和十四年一月六日

各國新聞論調概要

(225)

- 米國ノ對日通牒
- 汪兆銘脫出問題（續）
- 獨海軍ノ増重問題
- 汎米會議ノ効果
- 東亞新秩序建設ノ前途

外務省情報部

（本務参考用ニ付取扱注意アリタシ）

○ 米ノ對日通牒ハ同感
 ○ 汪脱出事件ノ反響ノ歪曲
 ○ 獨逸ノ秩序建設ノ前途多難
 ○ 近衛聲明ハ、日本ノ自信無キヲ暴露

昭和十四年十一月六日

目次

一、英國

△ 米ノ對日通牒ハ同感

△ 汪脱出事件ノ反響ノ歪曲

△ 獨逸ノ秩序建設ノ前途多難

二、米 國

△ 汎米會議ノ精神的效果

△ 對日公文ヲ支持

△ 汪脱出事件ノ意義

三、佛 國

△ 汪ノ脱出ヲ重大視

四、獨 逸

△ 東亞ノ秩序建設ノ前途多難

五、蘇聯邦

△ 近衛聲明ハ、日本ノ自信無キヲ暴露

六、瑞 西

一、
 △ 蘇聯ハ東動セヌノカ貴明
 △ 歐洲人ノ地位西渡ハ容易ナラス。
 △ 蘇聯ハ東動セヌノカ貴明
 △ 歐洲人ノ地位西渡ハ容易ナラス。

七、蘭 印

△ 歐洲人ノ地位西渡ハ容易ナラス。

英國

△米ノ對日通牒ハ同感

舊臘米國ノ對日公文ニ關シ、一月一日華府發「タイムス」特電ハ、右ハ米國側ノ態度ヲ根本的ニ表明シタモノナルヘク、一九三二年「スチムソン」聲明ヲ彷彿セシム。日本カ右米側申入ヲ受諾スルヤハ頗ル疑ハシク、引續キ一方的ニ「新秩序」ノ建設ニ邁進スル場合ニハ、米ノ各種ノ手段ヲ執リ待ヘキカ、此ノ點ニ付テハ公文中ニ觸ルル所ナシト報シ、二日同紙外交記者ハ、英國側ハ目下、同趣旨ノ通告發送方ハ考ヘテ居ナイカ米ノ公文ニ付テハ、一言一句同感ニシテ「クレイギー」ノ數次對日申入ト同趣旨ナリト述ヘ、又一日華府發「テレグラフ」特電モ米官邊ニ於テハ、單ナル不承認政策以上ノ何物カカ必要ナリトノ意見強クナリツツアル旨報シタ。

△汪脱出事件反響ヲ歪曲

汪ノ行動ニ付テハ引續キ多大ノ注目ヲ堪ツテ居ルカ一月二日各紙ノ報道振左ノ通り、

27.

3